

「ロミオとジュリエット」の悲劇は、ここから生まれた

愛は死より切なく、そして尊い。

# トリスタンと イゾルデ

TRISTAN & ISOLDE

史上最も美しい、禁じられた愛の物語



ジェームズ・フランコ

ソフィア・マイルズ

20世紀FOX映画配給 スコット・フリーマン監督 アポロプロメディア・MEF (TRISTAN AND ISOLDE) リミテッド・スティルキング・QI (タリテイ・インカーナシヨナル) (原案) ケヴィン・レイノルズ (監修) ジェームズ・フランコ・ソフィア・マイルズ "TRISTAN & ISOLDE" ルーアス・シーケル  
音楽 アン・ドローネー 衣装 デヴィッド・ボウマン 編集 アン・テイ ジョアン・オサリヴァン ジェームズ・フランコ 録音 マクシム・シノケイ 録音 ビーター・ボバ 録音 マーク・ガラティ 録音 アーサー・リンハート 録音 ジョナサン・トニー・スコット トニー・スコット ジム・レムリー  
プロダクション フランク・ヒューブナー ジョナ・ハーディ マシュー・スタイルマン 録音 エルジー ジョニー・ナ・ワチオ モジュー・デ・イマント エリー・サマハ 録音 デイモン・ジョー・ガリス 録音 ケヴィン・レイノルズ

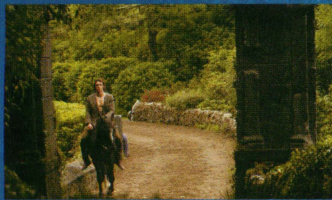
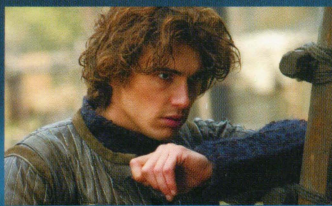
www.foxjapan.com

# トリスタンとイゾルデ

2006年11月10日公開

## 『ロミオとジュリエット』の原典になった 史上最も美しい悲恋物語

イングランドの若き騎士トリスタンと、敵対するアイルランド王の娘イゾルデ。ケルトの伝説として語り継がれてきたふたりの“禁じられた愛”の物語は、1,500年以上の時を超え、ヨーロッパの人々を魅了し続けてきたラブ・ストーリーの原点だ。これを基に、シェイクスピアは『ロミオとジュリエット』を執筆し、ワーグナーはオペラの最高傑作『トリスタンとイゾルデ』を生み出した。彼ら天才芸術家たちを虜にし、創造へと駆り立てていった伝説とは、いったいどんなものだったのか？  
人類史上最も美しく、最も切なく、最もドラマティックな許されざる愛の悲劇が、いま、華麗にスクリーンに蘇る。



### 彼女は父の敵を愛し、彼は恩人の妻を愛した

主人公のトリスタンは、コーンウォールの領主マークを育ての父に持つ勇敢な騎士。戦闘で瀕死の重傷を負い、敵国アイルランドの海岸に流れ着いた彼は、アイルランド王の娘イゾルデにかくまわれ、献身的な介護を受ける。粗末な海辺の小屋で過ごす濃密な時間のなかで、ごく自然に結ばれるふたり。だが、運命の女神は、別れよりも残酷な試練を彼らに用意していた。イゾルデとマークの政略結婚。それは、すぐそばにいながらみつめあうことすら許されない苦しみを、トリスタンとイゾルデにもたらすものとなる。そしてついに、ふたりがほとぼる情熱を抑えきれなくなったとき、彼らの愛は、国を滅ぼしかねない危険なものへと変貌を遂げていく……。

### 『グラディエーター』の巨匠リドリー・スコットが20年間夢見た企画

自由に人を愛することがかかなくなかった時代に生まれながら、一途に初恋の思いを貫きとおすトリスタンとイゾルデ。いまなお共感をかきたててやまない永遠の恋人たちを、みずみずしい魅力満点に演じるのは、『スパイダーマン』シリーズでブレイクしたジェームズ・フランコと、『アンダーワールド』シリーズを代表作に持つイギリスの新星ソフィア・マイルス。“生は死よりも尊く、愛は生よりも尊い。”その言葉を胸に、愛に生き、悲劇に身を投じるトリスタンとイゾルデのピュアな魂の軌跡を、ふたりは渾身の方で演じきり、鮮烈な印象を残す。

製作総指揮は、アカデミー賞に輝く『グラディエーター』の巨匠リドリー・スコット。本作の映画化の企画を20年間温め続けてきた彼は、『モンテ・クリスト伯』などの文芸作品の名手として知られるケヴィン・レイノルズを、監督に指名。まさしく理想的な両者のコラボレーションによって、一級の芸術品と呼ぶにふさわしい壮麗な歴史絵巻が誕生した。

監督:ケヴィン・レイノルズ / 脚本:ディーン・ジョーガリス / 製作総指揮:リドリー・スコット / トニー・スコット  
出演:ジェームズ・フランコ / ソフィア・マイルス / TRISTAN & ISOLDE / ルーファス・シウエル  
2005年 / ビスタサイズ / SR-SRD-DTS-SDDS / 上映時間:2時間6分 / 配給:20世紀フォックス映画

[www.foxjapan.com](http://www.foxjapan.com)

# 今秋ロードショー

先着限定  
5,000名様

癒しのサシエ(香り袋)付き特別鑑賞券発売中!

※前売券1枚につき1個 ※劇場窓口のみ ※一部劇場を除く ※詳しくは劇場スタッフまで



有楽町東宝映画街・帝国ホテル向い  
日比谷みゆき座  
03-3591-5357

